

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	平泉町	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界遺産「平泉」を活用した地域活性化プロジェクト		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>平泉町は「平泉町総合発展計画」で、平泉町の有する文化遺産と行政施策の関係において、観光面では、「平泉観光の特性である歴史・文化観光と緑多い自然を生かしながら、中尊寺・毛越寺・柳之御所を結ぶゾーンを『歴史交流ゾーン』と位置づけ、『体験・滞在・リピート型』観光振興を図ります」とし、また地域の文化行政に関しては、「心にゆとりと豊かさのある文化の薫り高いまちをめざして、優れた文化・芸術にふれる機会や場づくり…地域に伝承される郷土芸能への青少年などの参加を促進し、後継者の育成と伝統文化の継承に努めます」と、観光面、地域振興面で世界遺産「平泉」との積極的な活用を目指す。</p> <p>そのような町の体制を背景に世界遺産登録10周年に向け、世界遺産「平泉」の文化的・歴史的価値とその意義を町民と行政で共有し、世界遺産登録の文化財を地域の活性化の中核と、次世代へ継承・発展させる取り組みを本事業で実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>平泉町本実施計画に関わる全体の企画・調整や、各補助事業に関わる指導を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会世界遺産推進室：各補助事業における文化財の取扱いに関する指導・調整など 観光商工課：情報発信、普及啓発、観光業務に関する連携など</p> <p>補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>世界遺産連携推進実行委員会（委員長：青木幸保） 構成団体（一関市、奥州市、平泉町、県南広域振興局、（一社）一関観光協会、（一社）奥州市観光物産協会、（一社）平泉観光協会、一関商工会議所、奥州商工会議所、前沢商工会、平泉商工会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 55,322 千円	平成29年度申請額： 9,552 千円
(2) 実施事業の概要		別紙①の通り	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>(1) 海外向けに平泉の文化的な価値を訴える、英語アプリの創設</p> <ul style="list-style-type: none"> 平泉の魅力を伝えるアプリを制作することで、これまで平泉に訪れたことのない20～30代の若者に訴求し、来訪者が増大することが期待される。 英語版のアプリを制作し、現世に「浄土」を表した平泉の文化的な意義を強調することによって、仏教国の台湾や・タイなどからの観光客が増えることが期待できる。 <p>(2) シンポジウム：「庭園と平泉」</p> <ul style="list-style-type: none"> 当時、最新の作庭技術により作られた浄土庭園が、国内でも平泉に多数存在することを、地域の住民や学校生徒の地域の歴史への理解と誇りを深めて、地域が活性化される。 観光客に対して、他の世界遺産には見られない「庭園」の世界遺産という独自性を前面に打ち出すことによって、平泉の世界遺産の魅力を訴求することができる。 庭園を回遊し、時間をかけて鑑賞することによって、観光客が滞在時間の増大やリピートを高めることが期待できる。 「仏国土」の理想を表した庭園を打ち出すことによって、文化立国を目指した藤原政権の特徴の理解を含め、観光客の誘致に対してオリジナルな特徴を打ち出し、平泉の新たな魅力創造効果が期待できる。 			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	世界遺産劇場：9月に観自在王院跡で市川海老蔵による義経関連歌舞伎。平泉ファンの歌手によるPOPSコンサート
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
<p>本事業の実施により、地域や本実行員会などと協力しながら、中尊寺や毛越寺、他の文化財などの保存活用をはかる機運を醸成し、近年中に、文化遺産の調査とそれに基づく歴史文化基本構想の策定を目指す。</p>	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	平泉町商工観光課 観光商工課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	平泉町への外国人観光客入込数			関連事業: ①、②		
目標値 1 :	平成 28 年度		35,376 人	⇒	平成 31 年度 50,000 人	
設定根拠 1 :	新平泉町総合計画後期基本計画目標に基づき、年間5,000人の増加を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 2 :	(リストから選択してください。)					
具体的な指標 2 :	(具体的な指標を記載してください。)			関連事業:		
目標値 2 :	平成 年度		(単位)	⇒	平成 31 年度 (単位)	
設定根拠 2 :						
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 3 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 3 :	(リストから選択してください。)					
具体的な指標 3 :	(具体的な指標を記載してください。)			関連事業:		
目標値 3 :	平成 年度		(単位)	⇒	平成 31 年度 (単位)	
設定根拠 3 :						
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 4 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 4 :	(リストから選択してください。)					
具体的な指標 4 :	(具体的な指標を記載してください。)			関連事業:		
目標値 4 :	平成 年度		(単位)	⇒	平成 31 年度 (単位)	
設定根拠 4 :						
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	平泉の魅力発信事業	実施団体：	世界遺産連携推進実行委員会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度		
事業概要：	①海外向けアプリの制作 中尊寺・金色堂を目指した、タイ・台湾など仏教国からの観光客が近年増えているが、この傾向を助長すべく、「仏の国、平泉」のアプリ（英文）を設ける。				
評価指標区分：	・アプリ等のダウンロード数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	海外向けアプリのダウンロード数				
目標値：	平成 28 年度	0 回	⇒ 平成 31 年度 5,000 回		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
具体的な指標：	ブラッシュアップ並びに海外からの来訪者への効果測定を行なうためアプリ内に設置したアンケート・ヒアリングの件数				
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒ 平成 31 年度 1,000 件		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
具体的な指標：	ホームページやメディア等を活用したアプリの広報回数				
目標値：	平成 28 年度	0 回	⇒ 平成 31 年度 30 回		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
回	回	回	回	回	回
事業②：	世界遺産シンポジウム開催事業	実施団体：	世界遺産連携推進実行委員会		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度		
事業概要：	①シンポジウム「平泉の浄土庭園とその思想」の開催 末法思想が広まる平安末期の日本で、浄土とは社会的にどのような意味合いを持ったのか、またそれが、そのころの日本の文化・思想・美術などにどのような影響を与え、またここ平泉に展開をし、大きく花開いた理由と歴史を各界の文化人によって、討論をする。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	シンポジウム参加者に対するアンケートによる資産価値の理解や共感の深まり				
目標値：	平成 28 年度	0 %	⇒ 平成 31 年度 85 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
%	%	%	%	%	%